

『それだけ』 作：ポチ子

『それだけ』 作：ポチ子

自由になったら、

美味しいものを食べて、

好きな時間に起きて、

ぐーたらして過ごす。

たぶん今も、

やろうと思えばできるんだろうけど。

やらない言い訳を探せば、

いくらでも見つかるから、

私は不自由でいる。

自由は怖い。

よく分からないけど、

怖いから、選べないんだ。

怖いくせに、

それが幸せであるかのように、

自分に言い聞かせている。

自由なんか、

選べないって知っているから。

選べなかった未来が、

幸せだと思ったら、

『それだけ』 作：ポチ子

今の不幸も、

受け入れて生きていくことができる。

たぶん、それだけ。

— 終わり —